

この欄は記入しないでください

り災証明（兼 被災証明）交付申請書

①共通する内容

太枠部分をご記入ください

丸 森 町 長 殿	申請年月日	令和	年	月	日
申 請 者	住所 〒				
	氏名		電話		
代 理 者	住所 〒				
	氏名		電話		
調査の希望日 (り災・災害ごみ調査)	第1候補:	月	日		
	第2候補:	月	日		

②り災証明に関する内容

り 災 原 因	令和3年2月13日発生の福島県沖地震				
り 災 物 件 の 所 在 地	宮城県伊具郡丸森町				
り 災 物 件 の 所 有 者	申請者と同じ ・ 代理者と同じ ・ その他 ()				
り 災 物 件 の 居 住 状 況	居住 ・ 非居住	必 要 な 証 明 書 数	通		
り 災 物 件 の 損 害 状 況	<input type="checkbox"/> 基礎 (詳細)				
	<input type="checkbox"/> 屋根 (詳細)				
	<input type="checkbox"/> 壁 (詳細)				
	<input type="checkbox"/> 他 (詳細)				
証 明 書 の 送 付 先	<input type="checkbox"/> 申請者住所				
	<input type="checkbox"/> 代理者住所				
	<input type="checkbox"/> り災物件の所在地				
	<input type="checkbox"/> その他 (〒)				

③被災証明に関する内容

り 災 建 物 以 外 の 被 害 (倉庫、空き家等)	【例：倉庫の壁がはく離した、ブロック塀が倒壊した（1mくらい）】
-----------------------------------	----------------------------------

本 ①1点で確認できるもの

②2点必要なもの

人 免・個・住・在・パ・その他

健・介・年手・年証・後・高・その他

確 (NO.)

(NO.)

認

(NO.)

(り災証明について)

1. この証明書は、災害救助の一環として、応急的一時的な救済を目的に町長が確認できる程度の被害について証明するものです。
2. この証明書は、民事上の権利義務関係には、効力を有するものではありません。
3. 「り災程度」は、内閣府の示す基準により判定します。
4. 住宅に付随する家財道具や門柱、門扉などの外構はこの証明の対象となりません。
5. 「り災程度」は住宅を屋根、壁、構造体等の部位別に表面に現れた被害を観察して判定します。そのため、表面に表れない被害（例：地中の杭の折損、壁・構造体等の内部素材そのものの被害等）がある場合には、この証明の「り災程度」と異なることもあります。